カスタマーストーリー

データ分析

HONDA

Qlik データに基づき、従業員数千人がビジネスに関わる意思決定を行う

「誰もがデータを活用して仕事ができる文化を作りあげる必要があり、データを簡単に理解できるようにする環境と道具を提示する必要がありました。そこで Qlik ソリューションが重要な役割を担っています。」。

本田技研工業株式会社 データ解析・活用課 チーフエンジニア 小川 努氏

100 年に一度の変革の時代

世界中で約 3000 万台の販売実績を誇る本田技研工業は、まさに自動車業界の巨人です。430 社からなる Honda グループは、二輪車と四輪車の設計、製造、販売部門に 20 万人を超える従業員を抱え、パワープロダクツ、耕運機、船外モーター、航空機エンジンなどの新事業を加えたライフクリエーションを行っています。

Honda の主要事業の 1 つである自動車業界では、電気自動車や自動運転車など新しいトレンドが生まれており、同社はまさに 100 年に 1 度の変革期を迎えています。同社は革新的な支援が可能となるデータ活用により新たな価値を創造し、情報・デジタル技術を全社ビジネスの効率化と次世代サービスに活用しようと考えました。

まず着手したのは、顧客価値を最大化しながら既存事業のバリューチェーンの最適化を目指す組織であるデジタル改革統括部の設置です。この部署にはデータ活用を通じて新たな価値提供を実施するバリュークリエーション部が設置されています。

実は社内では以前から統合 BI プラットフォームを導入していましたが、データサイエンティストにとってさらに使い勝手の良い仕組みが求められていました。

「データを理解した上で素早く洞察を深めていくためには、ビジュアライズに優れた環境が必要だったのです」とデジタル改革統括部バリュークリエーション部データ解析・活用課チーフエンジニアの小川 努氏は当時を振り返ります。

ソリューションの概要

顧客名
本田技研工業株式会社

業界
製造業

所在地
東京

適用業務
営業、サプライチェーン管理

ビジネス価値の促進要因
プロセスの再考

課題

- 自動車業界に起きている重大な変化への投資
- ビジネスの進め方を効率化し、次世代のサービスを提供する
- データ分析を明確な洞察につなげる

解決策
Qlik を使用してビジネスの進め方を効率化し、全社的なデータ文化を醸成する

成果

- 事業運営がより効率的になり生産コストが低減
- 数千人の Qlik ユーザーによる全社的なデータ文化の創造
- 資料作成にかかる時間が数ヶ月から 1 日に短縮

柔軟なセルフ BI ツールの Qlik を選択

Honda は、まず QlikView、次に Qlik Sense を導入しました。「世の中には SQL を便利に使うだけの BI ツールも少なくありませんが、特に Qlik Sense は、単に情報をガイド付きで見るためのガイデッド BI ではなく、洞察力を高めるためのセルフ BI として有益だと考えました。データの持ち方をきちんと考慮したうえで圧縮されている点も、おもしろみを感じたのです」と小川氏。

「IT 部門にお願いせずとも環境が整備できることは大きな魅力の 1 つ。自分たちでやりたいような形に整備できるという意味では “シャドー IT” の代表的なものですが、考え方がオープンでバックエンドも公開されており、自分たちが望む形にシステムを連携できることはデータ分析を迅速に行う上で重要だったのです」と小川氏は語ります。

データ活用の全社的な基盤を醸成

当初は小川氏が所属する部門を中心に 400 名あまりのメンバーが利用していましたが、Qlik の企業レポート作成機能と合わせ、現在は Honda 全社で数千人が使用しています。同社は、Qlik の教育支援を通じてデータ活用の企業文化を社内に醸成していく活動を現在も継続して行っている状況です。当初は閉じた部門での活用が中心だった “シャドー IT” 的な位置づけから、いまでは全社を挙げての IT ツールとして広く認識されています。

「成功体験を持つ世代は、経験と勘と度胸を非常に大事にしていますが、経験の乏しい若手や新たな領域にチャレンジする際には、それらをデータで補ってあげなければなりません。そのためには、誰でもデータ活用できる文化を作りあげていく必要があり、データが理解しやすい環境や手段を提示する必要がある。そこで Qlik ソリューションが重要な役割を担っています」と小川氏。

Qlik ソリューションの活用範囲は非常に幅広く、複数データを組み合わせた販売状況の原因分析をはじめ、品質問題の発生状況や SNS と連携した第三者評価の分析、性能情報も踏まえた自社のポジショニング分析などさまざまな用途に Qlik ソリューションが活用されています。

さらに、AI プラットフォームである IBM Watson と組み合わせ、販売台数に影響のありそうな情報に対して問い合わせると回答してくれる自然言語解析およびレコメンドに関するボットも作成しており、その解答に必要な分析も Qlik ソリューションが担っています。

「データを理解した上で整理し、早く新しい切り口の提供によって洞察につなげるという意味で、Qlik ソリューションは非常に強力な製品だと考えています。R 言語や Python だけでこの環境を作るのはとても現実的ではありません」と同課アシスタントチーフエンジニアの米山憲寿氏は評価します。さらに「作り込む人もいれば深く分析する人、得られた情報を活用する人など、それぞれ現場や場面に応じて必要なものが異なりますが、うまく使い分けできるのが Qlik のポイント。オンラインでの会議にて参加者それぞれが違うアカウントで Qlik を開き、選択肢を変化させながらチームで議論するなど、結果をベースにディスカッションする場面でも重宝しています」と話します。

Qlik は業務効率化の面でも効果が表れています。たとえば作りこみが必要だった 50 枚ほどある顧客向けのアンケート報告資料が 1 つのシートで更新しながら確認できるだけでなく、1 ヶ月かけて作成していた自動車の企画資料がわずか 1 日で作成できるようになるなど、資料作成の工数削減に大きく貢献していると現場から評価の声が寄せられています。

「市民データサイエンティストの育成、そのベースにあるのはデータリテラシーを高めることです。「 道具としての Qlik ソリューションを使って、データ活用できるという文化の醸成をさらに推し進めていきたい」と小川氏は今後の抱負を述べています。

成功の鍵

1

1 ヶ月かかっていた
計画資料が 1 日で完成

50

50 件のレポートが 1 枚

「データを理解した上で整理し、早く新しい切り口の提供によって洞察につなげるという意味で、Qlik ソリューションは非常に強力な製品だと考えています。」

本田技研工業株式会社 データ解析・活用課 アシスタントチーフエンジニア 米山憲寿氏

Qlik について

複雑なデータ状況を実用的なインサイトに変換し、戦略的なビジネス成果を促進します。世界 40,000 社以上の顧客にサービスを提供している Qlik の製品ポートフォリオは、最先端かつエンタープライズ水準の AI / 機械学習と広範なデータ品質を基盤としています。また、優れたデータ統合およびデータ統制、多様なデータソースに対応する包括的なソリューションを提供します。Qlik の直感的でリアルタイムの分析は、隠れたパターンの発見や複雑なビジネス課題の解決、新たなビジネスチャンスの獲得を支援します。さらに、実用的で高度な拡張性を備えた Qlik の AI / 機械学習ツールで、適切で迅速な意思決定を可能にします。Qlik は顧客の戦略的パートナーとして、プラットフォームに依存しないテクノロジーと専門知識で、顧客の競争力を高めます。

qlik.com

© 2024 QlikTech International AB. All rights reserved. 記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

1-CM-60